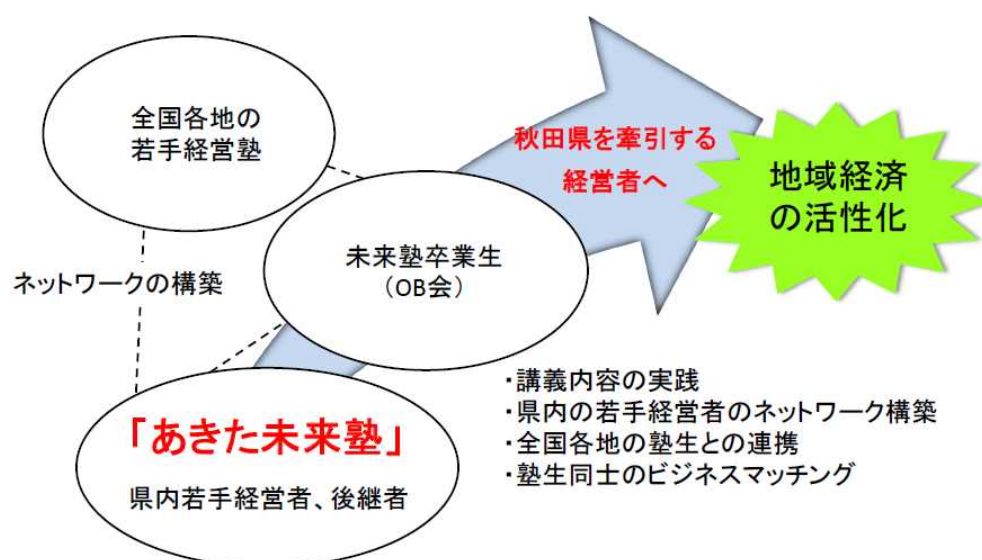


銀行名	秋田銀行
タイトル	クラウドファンディングサービス「FAN AKITA」の開設
取組み内容	1 趣旨 (1) 平成 27 年 8 月、地域の諸問題の解決や地域活性化に資する様々なプロジェクトを支援するため、クラウドファンディングサービス「FAN AKITA（ファンあきた）」を開設している。 (2) 本サービスは、事業者が実施する企画ごとに目標金額を設定し、ウェブサイトや「秋田魁新報」の紙面などを通して、小口の資金提供を呼びかけ、プロジェクトの実現を支援するものである。 (3) スキーム概要  2 特徴 (1) 本サービスの特徴は、(株)秋田魁新報社、ミュージックセキュリティーズ(株)との 3 者連携スキームとした点であり、地銀、地方紙、クラウドファンディング事業者による連携スキームは全国で初めての取組みとなった。 (2) 3 者連携とした理由は、事業者がクラウドファンディングを有効活用するためには、当該プロジェクトをより広く情報発信するとともに、信用を付与したうえで、支援者からの共感を得る必要がある。 (3) この点を勘案し、秋田県内で新聞購読者数が最も多い秋田魁新報社が持つ情報発信力、既に投資型クラウドファンディング事業者として実績のあるミュージックセキュリティーズのノウハウ・サービス運営力に、当行が地域金融機関としてのコンサルティング能力を付け加えることで、革新的なサービスを目指している。 3 取組実績および今後の取組み (1) 22 件のプロジェクトを採択し、うち 16 件でファンド成立（資金調達額累計 15,958 千円、募集中案件 5 件） (2) 今後、創業案件や観光事業者による誘客促進に資するプロジェクトなど、幅広くプロジェクト提案を行う予定である。

銀行名	秋田銀行
タイトル	若手経営者塾「あきた未来塾」の開催
取組み内容	1 目的 (1) 将来の県内経済を牽引する若手経営者・後継者に対し、経営者としてのモチベーションを高め、経営と真摯に向き合うための意識醸成をはかる。 (2) 発表や討論などを交えた参加型のセミナーで、企業経営に必要な「ヒト・モノ・カネ・情報」についての考え方の醸成をはかる。 (3) 次世代を担う同塾の塾生同士のネットワークの輪を拡げるとともに、全国の若手経営者塾とのネットワークを構築し、新たなビジネスの創出や地方創生につなげる。 2 概要 (1) 地域産業論の第一人者である関満博氏（明星大学経済学部教授・一橋大学名誉教授）を塾頭に迎え、同氏のネットワークによる著名な講師陣を招聘しセミナーを年10回程度開催している。 (2) 講義内容は、リーダーシップ、人材組織力、経営戦略、財務分析など多岐にわたり、他県への企業視察や全国の若手経営者塾との交流もカリキュラムとして盛り込んでいる。 (3) 開講以来、5期まで61名の卒業生を輩出し、28年10月に6期が開講予定である。なお、卒業生の提案により「OB会」が設立され、期を越えたネットワーク体制が構築されている。 (4) 本塾により、将来を担う同期の塾生相互の「ヨコ」のつながり、塾生と卒業生との新たな「タテ」の連携、関氏が関与する全国の経営塾の塾生同士の交流による「ナナメ」のネットワークを構築している。



銀行名	秋田銀行
タイトル	「秋田プラチナタウン研究会」の運営
取組み内容	1 趣旨 (1) 秋田県における人口減少、高齢化の現状を踏まえ、多世代共存型のまちづくりを通じた持続可能な地域づくりを促進するため、26 年 8 月に本研究会を設立している。 (2) 本研究会は、行政、大学・研究機関、民間企業など 80 先で構成し、本県の強みや課題を踏まえた持続可能な地域づくり（＝プラチナタウン）を目指している。 2 機能イメージ 秋田プラチナタウン ～県民が暮らし続けられるまち、持続可能なまち～ ●交流・社交 ●コミュニティ ●ケア ●就業・企業 ●高齢者向け住宅 ●移動・交通 ●レジャー ●産学連携・学び など 秋田プラチナタウンを支える仕組み ●移住定住支援 ●住み替え支援 ●サポートファンド ●地域包括ケア ●地方創生総合戦略 など 秋田プラチナタウンを支える施策 ●地域開発 ●介護予防 ●住宅 ●機器開発 など 秋田プラチナタウンを支えるビジネス 秋田プラチナタウン研究会〈産学官金連携メンバー〉 3 これまでの取組み (1) 第 1 回～第 3 回研究会 超高齢社会に対応したまちづくり、まち・ひと・しごと総合戦略の概要等について有識者から講演をいただき、まちづくりのノウハウの習得をはかった。 (2) 第 4 回～第 6 回研究会 グループ討議実施 (3) 幹事会 27 年 12 月より、秋田プラチナタウン構想のアウトライン、個別事業を策定すべく幹事会を運用している。 4 今後の取組予定 (1) 幹事会による秋田プラチナタウン構想のアウトライン、個別事業の策定 (2) 研究会会員による個別事業の実施（適宜）